湊川隧道保存友の会会報 てんちょうちきゅう 第13号
発行日　平成 26 年 4 月 13 日
発行者　湊川隧道保存の会会長　吾妻　義信

左の写真は、吐口側坑門に掲げられた小松宮彰仁親王による扁額です。

湊川隧道と地域活動　～地域の宝物・絆～

兵庫区長　柳　谷　茂　昭

兵庫区には、神戸における「明治の近代土木遺産」と呼ばれるものが３つあります。烏原貯水池と兵庫運河、そしてもうひとつが湊川隧道です。

兵庫区は神戸発祥の地として、平清盛が活躍した平安時代など、古くから歴史の舞台にもなってきたまちですが、歴史遺産で言えば、明治時代に造られた建造物が今も残り、地域や区民のみなさんをはじめとして、兵庫区外から来られる方々にも兵庫区の魅力を伝え続けています。

湊川隧道の建造には、レンガが約450万個も使われており、重さから考えると10トントラックで1,400台分にも相当すると言われています。当時としては世界最大級の規模であった湊川隧道は、ツルハシやスコップといった手掘り作業で造られ、土木工事はとても大変な苦労があったことと思われます。また、中に入ってみると気温もかなり外とは違い、とても重厚な雰囲気で、別世界に来たような気持ちになります。

湊川隧道の中では、地域の団体である「湊川隧道保存友の会」の皆さんの精力的な活動によって、平成19年度からの定期的な一般公開に加えて、平成21年度からは音楽コンサートなどのイベントが行われています。また、会の発足当初から講演会の開催、会報の発行、隧道周辺の清掃活動を行っておられます。さらに、阪神・淡路大震災が起きた１月17日を記念して、昨年より「鎮魂の灯り、希望の灯り」として隧道内に竹灯篭が並べ、ろうそくの火が灯されています。

「湊川隧道保存友の会」は2001年（平成13年）に組織され、今年で14年目を迎えられます。「湊川隧道保存友の会」の活動は定期一般公開だけでなく、「新湊川を守り育てる会」（河川愛護団体）と連携しながら‘新湊川まつり’に協賛した一般開放など地域のみなさんとともに精力的に活動され、地域のよさ、魅力を広げていただいていること、大変うれしく思います。

「地域の宝物は地域の人の手で守る。この活動を通して地域の活性化やまちや住民同士の絆づくりにつながればと考えている」との吾妻会長のお言葉を伺いましたが、まさに湊川隧道の保存・活用を通して、地域のコミュニティが形成されており、このような取り組みや歴史遺産としての湊川隧道が、次世代にまで引き継がれていくことを切に願っています。

湊川隧道ミニコンサート、この１年（その１）

※各グループのコメントは、予告リーフレットに記載された紹介文です。

ギター・歌

日　　時：平成25年4月20日（土）
グループ名：川村隆志ファミリー
見 学 者 数：87 名

音楽をこよなく愛し、音楽で盛り上げようとする神戸の街づくりに関心を抱き、10年前から神戸を拠点として路上ライブやイベント会場での演奏、その他、喫茶店やライブハウス、学校行事等、幅広く弾き語りスタイルで演奏をしております。
オリジナルソングにおいては、日常生活の中にある幸せを描いた曲を中心に、心温まる歌詞にギターと歌声を乗せ、幸せをお届けしております。

ピアノ演奏・ハンドベル

日　　時：平成25年5月18日（土）
グループ名：音の玉手箱・カンタービレ
見 学 者 数：139 名

ピアノ教室を主幹しながら、神戸は北区・兵庫区・垂水区・長田区で、また大阪の老人介護施設にて、ボランティア活動をしております。
ピアノ演奏、ハンドベル、大正琴、二重唱と皆様にいろいろな音楽を楽しんでもらっております。皆様の興味ある、童謡・なつメロを中心に演奏をさせて頂いております。

吹　奏　楽

日　　時：平成25年6月15日（土）
グループ名：夢野中学校　吹奏楽部
見 学 者 数：140 名

110年以上前のトンネルで行なう、中学生のコンサート。建築した当時は、想像もしなかった光景かも知れません。
昨日まで修学旅行だったそうです。1,2年生は両脇で応援で、AKB48のダンス付です。「きゃろらいんちゃろんぷろっぷきゃりーぱみゅぱみゅ」の「つけまつける」も演奏してくれました。トランペットの音色はトンネル入口まで届き、閉塞空間である隧道は、音響効果も抜群です。

オカリナ演奏

日　　時：平成25年7月20日（土）
グループ名：鵞鳥クラブ
見 学 者 数：168 名

鵞鳥クラブはオカリナという楽器に因んだクラブ名で、イタリア語の（ＯＣＡ：鵞鳥、RINA:小さい）に由来しています。メンバー17名は神戸市シルバーカレッジの卒業生で、オカリナの美しい音色を目標に新湊川会館で月3回、わいわいガヤガヤと、時には世間話に花を咲かせながら練習を楽しんでいます。今回も地域の子供さん達にも参加してもらいました。

クリスタルボウル

日　　時：平成25年8月17日（土）
グループ名：花音 ～ Kanon ～
見 学 者 数：198 名

「花音～kanon～」は、神戸在住の中野優子と淡路島在住の長尾知世子とのアルケミークリスタルボウル演奏ユニットとして2008年5月にスタートしました。京都を皮切りに、高野山、神戸、淡路島、徳島など各地でコンサートやワークショップを開催しています。女性らしいゆるやかで温かな音色が持ち味です。
大聖堂を思わせる湊川隧道に漂う幽玄な時間をお楽しみください。

クラッシックギター

日　　時：平成25年9月21日（土）
グループ名：一宮誠志＆竹内裕香
見 学 者 数：159 名

●ソロギター
♪アルハンブラ宮殿の思いで
♪カーニバルの朝（黒いオルフェ）
♪ユリディス: (V.D.モライス)
♪カタルーニャ奇想曲

●歌とギター
♪ブラジル風バッハ〈アリア〉: (ヴィラ　ロボス)
♪アベマリア : (バッハ＆グノー)
♪歌に生き、恋に生き : (プッチーニ)
♪サマータイム : (ガーシュイン)

湊川隧道ミニコンサート、この１年（その２）

フルート演奏

日　　時：平成25年10月19日（土）
グループ名：音もだち♪トゥインクル
見 学 者 数：253 名

私たちは2010年にフルートが大好きな主婦で結成したフルートアンサンブルです。
学生時代はそれぞれにブラスバンドやオーケストラなどに所属、現在は、仕事や子育ての合間を縫って老人施設や病院、幼稚園などでボランティアの演奏活動を続けています。フルートの優しい音色で聴いて下さる方が「ほっこり」できるような演奏がお届けできればと思っています。
http://blog.goo.ne.jp/twinkle_2010_flute←活動ブログ

弦楽四重奏

日　　時：平成25年11月16日（土）
グループ名：アマネーロ・カルテット
見 学 者 数：143 名

地元神戸で活動しているアマチュア・オーケストラの「神戸市民交響楽団」(KCO)のメンバーで、KCOは、来年には創立45周年を迎えます。現在、約90名の団員がいますが、そのメンバーにより、「アマローネ室内合奏団」と名付けて、さまざまな小編成の室内楽にも取り組んでいます。本日は、「アマローネ・カルテット」として弦楽四重奏を演奏します。世界のさまざまなメロディをお楽しみ頂ければ幸いです。

吹　奏　楽

日　　時：平成25年12月21日（土）
グループ名：神戸学院大学付属高等学校吹奏楽部
見 学 者 数：66 名

高校生の吹奏楽って、誰もが知っている曲を演奏してくれるので聞きやすくて好きです。演奏終了後、アンコールを3曲でも4曲でもやってと・・・
学生たちはアンコールを1曲しか用意していなかったようですなので、今日演奏した曲の中から3～4曲リクエストをすることとなりました。
まずは、元々アンコールとして用意されていたあまちゃんの音楽を演奏されました。学生さんのコンサートだと身内の応援が多いとは思いますがそれ以外の人も結構来られていて、立ち見の人もいました。

一般公開

日　　時：平成26年1月18日（土）
グループ名：湊川隧道保存友の会
見 学 者 数：30 名

湊川随道が造られたのは明治34年、内部はレンガ造りのトンネルで高さ幅7m、長さ約600mのレンガ造りのトンネルで、当時世界でも最大規模でレンガの個数は450万個もあるといわれています。震災後、新たに付け替えられることになりましたが歴史的価があるとのことで保存され、平成20年、土木学会選奨土木遺産に指定されました。歴史的価値もAランクです。ユニークな点は一般公開にあわせトンネル内部でミニコンサートなどが行われることです。

三味線・民謡

日　　時：平成26年2月15日（土）
グループ名：西神ドリームブリッジ&楽団ひとり
見 学 者 数：95 名

ハーモニカは我々が子供のころ最も身近にあった楽器であります。
須磨、西の両区民センターで複音ハーモニカ講座の講師、藤原延之先生の指導の下、その受講生が中心となり、約4年前に結成されました。抒情歌、歌謡曲、演歌、ポピュラーソング等いろいろな曲を、月2回集まり、みんなで楽しんでおります。さらに、関西ハーモニカ連盟主催のハーモニカ祭りの出演をはじめ、各種施設での慰問演奏を行っております。
　ハーモニカはかさばらず、身近に置けて、いつでも、手軽に楽しめるすぐれた楽器です。さあ、あなたもみんなと一緒にやりませんか！

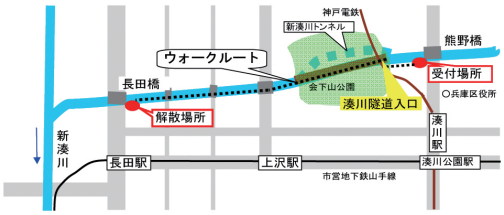
オカリナ&マリンバ

日　　時：平成26年3月15日（土）
グループ名：森の詩
見 学 者 数：157 名

2010年発足以来、小学校やミュージックサロンなど様々な場所で演奏活動を行っています。多くの人が1度は耳にしたことのあるクラシックの名曲から子どもから大人まで楽しめる童謡、映画音楽など様々なジャンルの曲をレパートリーとしています。土で作られているオカリナと木で作られているマリンバの アンサンブルからは自然の恵みを感じられる様な優しい響きがします。

「土木の日」新湊川ウォーク～湊川隧道通り抜け～

日　　時；平成25年11月17日（日）
参加者数；347名（通抜け人数220名）



11月18日は、「土木の日」です。土木学会の前身である「工学会」が明治12年（1897）11月18日に創立されたことと、‘土木’の二文字を分解すると‘十一’と‘十八’になることから、「土木の日」とされています。

湊川隧道保存友の会では、この11月18日を一般公開の日として、平成23年から定期一般公開とは別に公開をしていますが、これまで隧道を見学されるみなさんからトンネルの下流まで通り抜けができるような企画をしてほしいといった意見が多くありました。そこで、今回は、神戸土木事務所と相談したところ、下流側（トンネル吐口側）の河床部を通行できるような通路が設置されて、‘通り抜け’が実現しました。

当日は、土木の日にちなんで、田中輝彦氏（神戸大学大学院非常勤講師）に『兵庫・くらしを支える土木施設』と題して講演をしてもらいました。また、隧道内で、ダンサーの岡登志子さん、柿尾優さんによる‘労働とダンス’をテーマにしたダンスパフォーマンスもありました。

まず、築造当時の石畳みを歩く

新湊川トンネルの出口です

出口～房王寺橋

注目！コンクリートの川床に植生

ゴール間近です

ゴールで記念品の受け取り

田中輝彦先生の講演

ダンスパフォーマンス

神戸土木事務所からのお知らせ

平成 26 年度の「土木の日」（平成 26 年 11 月 16 日（日））も平成 25 年度と同様に、湊川隧道を通り抜けて新湊川の川床にある遊歩道を長田橋まで散策するイベントを行います。

また、兵庫県神戸県民センターでは「神戸における明治期の三大土木事業」である湊川隧道、烏原（からすはら）貯水池、兵庫運河を巡るツアーも計画し、より魅力的な「通り抜け」ができるよう検討しています。これら詳細が決まりましたら、県のホームページや広報誌でお知らせしますので、ふるってご参加下さい。

地域の紹介⑧

「新湊川を愛する会」の活動紹介

会　長　岸　本　圭　吉
事務局　井　上　清　志

私たちはコンクリートで固められた新湊川に自然をよみがえらせる活動をしています。流域に住む人々が、水の流れや岸辺の草花を見ながら散歩したり、子どもたちと魚とりをして楽しめる「ふるさとの川」を作っていこうと思っています。

初夏の新湊川

川あそび

フトンカゴ（石のつまった金網）に土のうを詰めてキショウブやカキツバタを植え、多孔質のポーラスコンクリートを貼ってヨシを植え、岸辺の緑化に取り組んできました。直線的だった川の流れが蛇行し、フトンカゴの石の間や、草花の根元や茎の間に、魚やエビ、カニなど、たくさんの水生生物が棲みつくようになりました。暖かい時期には月に一度「川あそび」を実施し、子どもたちと一緒に魚とりをしたり、水生生物の観察をしたりしています。

また、一昨年の夏から「ふるさとの川」の祭として、「七夕灯ろう流し」を始めました。地域の子どもたちや、周辺の学校の児童生徒たち、趣味の会の人たちに和紙に絵を描いてもらって灯ろうを制作し、旧暦七夕の８月７日に、室内橋上流から長田橋まで流します。前日には前夜祭として、長田橋付近で灯ろう展示を行い、作ってもらった灯ろうをゆっくり鑑賞してもらいます。ともに大好評で、長田神社周辺地域の歴史と伝統の街にふさわしい夏の風物詩として、いつまでも続けていきたいと思っています。

灯ろう流し

灯ろう展示

灯ろう流しフィナーレ

よかったら「川あそび」（５～９月の第４土曜日の午後）や「七夕灯ろう流し」（8 月６、７日の夜７～９時）を、ぜひ見に来てください。

「新湊川を愛する会」について

新湊川では、阪神・淡路大震災によって長田区から兵庫区の間で大きな被害が発生しました。被災した河川の復旧、復興により河川はより安全、安心になるとともに、新しくなった河川や緑道をみんなできれいにするため、平成 15 年８月に「新湊川を愛する会」が自治会や商店街を中心になって発足しました。毎月１回、河川の清掃や、魚の棲みやすい川づくり、水性植物の植栽などを行い、長田商業高校と連携して川に親しめる環境づくりを行うとともに、８月７日の七夕に‘灯篭流し’など、地域住民も参加できる活動に取り組んでいます。

近代土木遺産の紹介③

立ヶ畑堰堤（烏原貯水池）

立ヶ畑堰堤は、湊川隧道から約2.3㎞上流の烏原村に神戸市の2番目のダムとして建設された。前回に紹介した五本松堰堤（布引ダム）が完成した1年3カ月後の明治34年(1901)６月に工事着手し、明治38年(1905)５月に完成した。その後、増え続ける水需要に対応して貯水容量を増やすために、2.72mのかさ上げ工事が、大正2年(1913)８月から大正4年(1915)３月まで行われた。貯水量は131万立方㍍である。堰堤は、長さ122.42m、高さ33.33mの重力式粗石モルタル積堰堤であり、堤頂部は、半径181.81mのアーチ状の華麗な姿になっており、堰堤中央上部に日本で初めての4連アーチの余水吐が設置されている。これらは、工事部長であった佐野藤次郎が、英領インドの石積堰堤を視察し、その成果を十分に取り入れた設計である。

堤頂部にある石造りの取水塔は、エンタシスの柱を持ち古典的な装飾が施され、入り口には中国の故事「周易の井、養而不窮也」から採られた“養而不窮”の文字が刻まれ、壁には、英語で佐野藤次郎や工事にかかわった技術者、鳴瀧幸恭初代神戸市長などの名前が刻まれた扁額が掲げられている。また、貯水池の最上流部には、増水時に貯水池への流入量を制限する３門のゲートを備えた締切堰堤が設置され、鋳鉄製ゲートは装飾され、締切堰堤の近くには、古典的な放水門が建っている。

ところで、堰堤上流の貯水池右岸の法面には、烏原村の住民が線香の原料粉を作るために水車を使ってひいていた石臼が、たくさん埋め込まれているが、日本で最初に家屋などの移転補償を伴ったダムであることの証になっている。

烏原貯水池は、神戸電鉄の鵯越駅及び鈴蘭台駅や神戸市バスの石井町停留所からの多彩なハイキングコースになっている。そして貯水池の周囲（約2.7㎞）は「水と森の回遊路」として、湖面を眺められる休憩所や広場が整備されているため、気軽な散策が楽しまれる憩いの場になっている。なお、立ヶ畑堰堤は平成10年（1998）に国の登録有形文化財に登録されている。

（湊川隧道保存友の会理事　西海伸行）

【立ケ畑堰堤】

【烏原貯水池】

【貯水池法面に埋め込まれた石臼】

【貯水池上流締切堰堤】

平成25年度の活動報告

【平成25年度総会・講演会】

日　　時：平成25年４月20日（土）９：30～12：00
場　　所：新湊川河川防災ステーション内（新湊川ふれあい会館）
参加者数：35名

総　　会

平成24年度活動報告・会計報告・監査報告、平成25年度予算案・その他

講　演　会

講演者：**赤崎まき子**（㈱エイ・ワークス代表取締役、コンテンツプロデューサー）
演　題：『～地域の宝に新たな輝きを～　産業遺産の活用で、まちを元気にする！』

講演要旨：　湊川隧道は河川トンネルで、近代化産業遺産。これは経済産業省用語で、文化省系は近代化遺産と言っている。湊川隧道は近代化産業遺産、その中の土木遺産という位置づけです。そして今、産業遺産というのは保存するというところから、活用のフェーズに入っている。

観光・産業・交通そしてエコの４つのテーマで、名古屋・高山市・愛知などの産業、食文化、工業、他国語文化圏からの観光客の誘致などを手掛けてきた経験から、行政機関と連携して産業遺産を守って行く必要があると思う。産業遺産の活用というのは環境です。今あるものを壊さないで保存して、活用して、それを社会に役立てていくということなので、非常にエコロジカルな発想だと思っている。更に活動しなければ産業遺産は廃棄されてしまう。過去からずっと現在、未来、産業遺産の素晴らしいところは、過去が最先端につながっているということがよく見える場合がある。例えば、湊川隧道の煉瓦の積み方や花崗岩を用いたインバート部や坑門のデザインなど、河川改修事業のあゆみを現代に伝える貴重な土木遺産であることが分かる。

どこの地域でもそうであるが、本当に価値がある産業文化財が存在するのに、地元の人がその価値をよく知らないという例が非常に多い。産業遺産って美しいんです。機能美、造形美、湊川隧道もそうです。

できたら地域の人たちが愛している産業遺産を自前で維持できるような、そういう費用を捻出できるようなビジネスモデル、運営の支援体制が欲しい。若い人にもっとかかわってほしい。そういうふうなことがあってこそ、日本の産業を支えてきてくれた遺産に対するリスペクトができると思います。

【神戸まつりはっぴぃひろば】

日　　時：平成24年５月18日（土）11：00～16：00
場　　所：湊川公園広場

兵庫区政80周年記念の関連行事のため、盛況であった。昨年と同様にパネル展示を行った。湊川隧道を紹介するパネル15枚と新たに平成24年度の活動を紹介するパネル９枚を追加して展示しました。

昨年と同様にアンケート回答者に瓦せんべいを３時間内に200枚配りました。

アンケート結果では、90％の人が神戸市内から来られた。その内兵庫区内の方が59％であった。湊川隧道に行ったことがある人は33％で、５回以上来られた方が２名です。

【「1.17」‘鎮魂の灯り・希望の灯り’】

日　　時：平成25年１月19日（土）13：00～16：00

阪神・淡路大震災から19年、震災の記憶がだんだんと薄れつつあります。

湊川隧道保存友の会では、隧道そのものが震災モニュメントであることを神戸のみなさんに知ってもらいたい、「１．１７」の記憶を次の世代に伝えていきたいという思いから、昨年から震災記念日に‘鎮魂の灯り・希望の灯り’として竹灯篭を隧道内に並べて灯りをともしています。昨年は一般公開の日にあわせて1月19日（土）に実施しましたが、今年は、1月17日（金）午前5時30分に点灯し、46分に黙祷を行いました。事前の広報が十分でなかったものの、早朝にもかかわらず30名の来場がありました。

来年は、震災20周年の年、1月17日が土曜日で一般公開の日に当たります。‘希望の灯り分灯’も行い、多くのみなさんに隧道が震災モニュメントであることを知ってもらえるよう情報を発信していきます。ちなみに、灯籠の竹材の提供は、土井竹材製作所（小野市）にご協力いただいています。

【一般公開＆ミニコンサート等】

開 催 日	一般公開	内　　容	出　演　者	入場者数	スタッフ数
平成25年４月20日㈯	13:00～15:00	ギター＆歌	川村隆志	87名	14名
５月18日㈯	13:00～15:00	歌、大正琴、ハンドベル	カンタービレ（安井京子他）	139名	14名
６月15日㈯	13:00～15:00	吹奏楽	夢野中学校吹奏楽部	140名	12名
７月20日㈯	13:00～15:00	オカリナ	鵞鳥クラブ	168名	11名
８月17日㈯	13:00～15:00	クリスタルボウル	花歌（中野優子、長尾知世子）	198名	12名
９月21日㈯	13:00～15:00	ギター	一宮誠志	159名	17名
９月29日㈰	9:00～13:00	『新湊川まつり』見学会		304名	6名
10月19日㈯	13:00～15:00	フルート	音もだち♪トゥインクル	253名	9名
11月16日㈯	13:00～15:00	弦楽四重奏	アマローネ・カルテット	143名	11名
11月17日㈰	12:00～16:00	『土木の日』見学会		347名	22名
12月21日㈯	13:00～15:00	吹奏楽	神戸学院大学付属高等学校吹奏楽部	66名	9名
平成26年１月17日㈮	5:30～ 9:00	『1.17』　‘鎮魂の灯り、希望の灯り’		30名	当日6名、前日準備9名
１月18日㈯	13:00～15:00	【一般公開のみ】		33名	9名
２月15日㈯	13:00～15:00	ハーモニカ	西神戸ドリームブリッジハーモニー	95名	13名
３月15日㈯	13:00～15:00	オカリナ・マリンバデュオ	森の詩	157名	14名
合　　計　　（平成 25 年度）				2,319名	188名

平成26年度の行事予定

予定されている定期一 般公開とミニコンサートは、下記のとおりです。

開 催 予 定 日	内　　容	出　演　者	備　考
平成26年４月19日㈯	クラリネット＆ファゴット	ＯＡＫ（オーク）トリオ	
５月17日㈯	二胡	木村ハルヨ	
６月21日㈯	吹奏楽	夢野中学校吹奏楽部	
７月19日㈯	瓢箪笛	四季大香	
８月16日㈯	オカリナ	オカリーナ・アミカ	
９月20日㈯	ピアノ演奏	天宮　遙	
10月18日㈯	演歌	山下眞由美	
11月15日㈯	フルート	音もだち♪トゥインクル	
11月16日㈰	『土木の日』見学会		詳細は未定
12月20日㈯	オカリナ	鵞鳥クラブ	
平成27年１月17日㈯	『1.17』　‘鎮魂の灯り、希望の灯り’		5:30～15:00
２月21日㈯	クラッシック	ＲＹＭ（ライム）	
３月21日㈯	徳之島しま唄	ばしゃ山会	

☆出演者の事情などにより、内容や出演者が変更される場合がありますのでご了承願います。
☆一般公開の時間は13：00～15：00、ミニコンサートの演奏時刻は13：30～の１回です。

賛助法人会員紹介

㈱エイト日本技術開発・㈱建設技術研究所・社会福祉法人海光園
社会福祉法人神戸光有会・㈱千葉出版

湊川隧道保存友の会事務局

「湊川隧道保存友の会」事務局　　市　成　準　一
ＴＥＬ：090-5255-6288　　〒651-1212　神戸市北区筑紫が丘２－10－３